

## ★ 平成 26 年度川崎区区民会議フォーラムの開催結果

### 第5期川崎区区民会議審議内容の報告

平成26年4月から2年間の任期でスタートした第5期川崎区区民会議の1年間の調査・審議内容について報告しました。

「区民会議の概要」「前期(第4期)川崎区区民会議の主な成果」について新井副委員長が、各専門部会の取組について戸村部会長・原部会長がそれぞれ報告し、その後、参加者との意見交換を行いました。



### 区民会議ポスターセッション

会場の受付横にて、区民会議の審議状況をまとめたポスターを展示し、第5期区民会議審議内容の共感できる取組について、参加者にシールで投票を行っていただきました。投票では、「子どもが自由に自然にふれあえる場の確保・創出」が最大の共感が得られ、次点は「自転車マナーの向上の検討」でした。



### 地球環境問題啓発ポスターコンクール表彰式

第2期区民会議の提案に基づき実施している小学校高学年を対象とした地球環境問題啓発ポスターコンクールの表彰式を行いました。

今回は、155点の応募の中から30点の入賞作品が選ばれ、当日は、入賞者16名(最優秀賞1名、優秀賞3名、佳作12名)が参加しました。



### 子どもから大人まで楽しめる落語

子どもから大人まで楽しめる落語を、落語家の柳家一琴さんをお呼びし、環境問題をテーマに上演を行いました。

上演後の「師匠への質問タイム」では、参加者からの様々な質問に対し、ユーモア溢れる回答で会場を大いに沸かせていました。



## 川崎区役所 企画課

〒210-8570 川崎区東田町 8 番地  
電話 044(201)3267 FAX044(201)3209

区民会議の活動についての情報は、区民会議だよりや市政だより川崎区版のほか、区ホームページ内にある「川崎区区民会議のページ」でもご覧になれます。「川崎区区民会議のページ」では過去の会議の要点がまとめられているほか、議事録や各期の(中間)報告書、会議の開催予定なども掲載しています。

【川崎区区民会議ホームページ】

<http://www.city.kawasaki.jp/kawasaki/category/94-10-1-0-0-0-0-0-0-0-0.html>



## ★ 平成 26 年度川崎区区民会議フォーラムを開催しました!



第5期川崎区区民会議審議内容の報告の様子

区民会議の審議内容を区民に広く周知するとともに、審議内容について区民から意見を伺うことを目的として、平成 26 年度川崎区区民会議フォーラムを開催しました。

当日は、「地球環境問題啓発ポスターコンクール表彰式」、「子どもから大人まで楽しめる落語」、「区民会議ポスターセッション」も行われ、多くの方にご参加いただきました。

### 開催概要

日時：平成 27 年 2 月 28 日 (土)  
午後 2 時~4 時  
会場：川崎市役所第 4 庁舎  
参加者：約 80 人

### 当日のプログラム

- ◆第5期川崎区区民会議審議内容の報告
- ◆地球環境問題啓発ポスターコンクール表彰式
- ◆子どもから大人まで楽しめる落語
- ◆区民会議ポスターセッション

※当日のプログラムの詳細については 4 ページを御覧ください。

## 地域を育むまちづくり部会

### 防災対策の充実

#### 地域で防災マップづくりを推進するための「(仮)安全マップづくりマニュアル」の作成

小学校区や町会単位の防災マップを、地域住民が自ら発意し作成できるように、マップの作成方法や作成の過程をまとめたマニュアル「(仮)安全マップづくりマニュアル」の作成を検討します。



#### マイ防災手帳の作成を通じた「家族防災会議」の推進

災害が起きた直後は「自助」がとても重要になります。また、各家庭で防災について話し合うことは自分や家族を守るという「自助」につながることから、話しあいのきっかけを作るため、マイ防災手帳を作成し、「家族防災会議」を開くことを推進します。

#### 自主防災組織のあり方の検討

町会・自主防災組織などの団体は日頃から様々な防災に関する活動をしていますが、地域防災力の向上のためには一層の連携が大切です。そこで、町会・自主防災組織などの各団体が連携して活動していくための仕組みを検討します。

### 子どもの遊び場づくり

#### 子どもが自由に自然とふれあえる場の確保・創出

昨今、公園などには規制や禁止事項があり、子どもが自由にのびのびと遊べる場所や、自然とふれあえる場所が減少しています。そこで、子どもが自由に遊べる場所や自然とふれあえる場所を川崎区内に確保・創出していくことを検討します。



#### 公園の管理・運営のあり方の検討

公園は子どもの遊び場としての機能だけではなく、災害時は避難場所になるなど様々な機能を有していますが、設備などがそれぞれ異なっている現状があります。

地域住民が自ら公園の管理・運営を行い、誰もが楽しめる世代間交流の場の創出について検討します。



### 交通安全対策の推進

#### 自転車マナー向上の検討

自転車マナーや盗難防止の啓発の方法（ステッカーの配布やスケアード・ストリート方式の安全教室の継続開催など）の実施を審議していきます。



## だれもがいきいき暮らす部会

### 地域における見守り活動の充実

#### 各団体で実施している高齢者などを見守る活動の実態調査と成功モデルの普及

見守り活動を行っている団体の実態を把握するため、アンケート調査を実施します。アンケート調査は高齢者の見守り活動だけでなく、子どもや障害者などを見守っている活動も対象とします。また、アンケート調査後は、アンケート結果を分析し、成功モデルの普及について検討します。

#### 見守り活動を行っている各団体の連携方策の検討

見守り活動を行っている団体はたくさんありますが、団体同士の連携がもっと良くなれば、見守り活動の内容も一層、充実すると思われれます。

そこで、見守り活動を行っている各団体に呼びかけを行い、情報交換会を定期的に行う仕組みをつくり、連携ネットワークを構築します。



### 子育てを通じた世代間交流

#### 子ども育成支援団体同士の情報交換会の開催・展開

第1回情報交換会を開催した「大師地区」での第2回目の開催を検討するとともに、新たに「田島地区」での第1回目の情報交換会の開催を検討します。今後は、情報交換会の開催に向けた体制づくりと子ども育成支援団体のネットワークの構築に向けた取組を審議していきます。

#### 絵本の読み聞かせなどによる世代間交流の実態把握と促進策の検討

世代間交流に関する活動や団体の実態を調査し、世代間交流の促進に向けた取組を検討します。

### 外国人市民も暮らしやすいまちづくり

#### 外国人支援団体と連携した防災フォーラムの開催

区内には多くの外国人市民が生活していますが、外国人市民にも防災に関する知識や心構えを日本人と同じように持ってもらう必要があります。そこで、外国人支援団体と連携した外国人市民向けの防災フォーラムを定期的に行うことを提案します。

平成 27 年 2 月には、第1回の防災フォーラムをカトリック貝塚教会で実施しました。当日は約 80 名もの外国人市民が参加し、防災についてのビデオ鑑賞、避難時に確認する事項などを学んだ後、防災体験（消火器の使い方、煙体験、地震体験）を実施しました。



消火器の使い方を熱心に学ぶ参加者の様子